

## ドクターヘリ 2 機運航に係る検証について

## 第 1 回 5 事業等推進部会の審議状況について

第1回	
日時	2025年10月8日（水） 午後2時から午後3時まで
開催方式	対面、オンライン併用
出席者	委員10名（委員総数15名）
議題	○ドクターヘリ2機運航体制について  【審議結果】 承認
報告事項	○愛知県重症外傷センターの本格運用について

## 1 経緯

- (1) 本県2機目のドクターヘリは、2024年2月1日から運航を開始した。
- (2) 令和5年度第1回県医療審議会5事業等推進部会（2023年9月19日開催）において、2機での運航については1年程度を試行期間とし、**本格運用に当たっては、有識者による検証が必要**との意見が挙げられた。

## 2 検証会の開催

## (1) 概要

運航開始後1年間の運航実績を踏まえ、**第3回検証会（2025年3月10日）を開催した。**【第1回及び第2回検証会の内容は報告済】

## (2) 第3回検証会における主な意見

- 出動件数は、全体で「2023年2月～2024年1月」の1.4倍程度になっているが、消防への普及啓発を行うなど、要請件数をさらに増やす取組みが必要である。
- ドクターデリバリーに関して、あいち小児保健医療総合センターの医師派遣を中心に一定の効果が出ている。
- エリア分けについて、特段の問題は生じていない。
- 隣県の意見を伺いながら、協定の締結に向けた手続きを進める。
- 症例検討会等において個々の症例の検討を行うなど、ドクターヘリ事業に係る検討を継続して行う必要がある。

## 3 ドクターヘリ2機体制による運航について

3回行われた検証会において、ドクターヘリ2機体制による運航についての特段の問題は見受けられなかった。

引き続き、検証会での意見も踏まえながら、2機体制となったドクターヘリの効果的な運用により、救急医療の一層の充実を図っていく。

## &lt;ドクターヘリ2機体制による効果&gt;

- 本県の救急医療体制の更なる強化
- 近隣県との連携による広域救急搬送体制の構築
- 南海トラフ地震始め大規模災害時における災害医療体制の確保

## &lt;ドクターヘリ2機体制に係る今後の協議体制&gt;

ドクターヘリ2機体制に係る協議事項が生じた場合は、本部会において意見聴取する。

## 愛知県重症外傷センターの本格運用について

### 1 概要

- 2023年1月から名古屋掖済会病院と愛知医科大学病院を試行病院として、「愛知県重症外傷センター」（以下「県重症外傷センター」という。）の試行運用を行ってきた。
- 本格運用へ移行するに当たり、令和6年度第2回県救急医療協議会（2025年2月17日）、令和6年度第2回県医療審議会5事業等推進部会（2025年3月24日）において、本格運用移行に関する協議を行った。
- 県医療審議会5事業等推進部会において承認が得られたことから、2025年8月、試行病院に中京病院と藤田医科大学病院の2病院を加えた4病院を県重症外傷センターに指定し、本格運用を開始した。

### 2 県重症外傷センターの本格運用について

#### (1) 県重症外傷センター指定病院（県内4病院）

- ・ 名古屋掖済会病院（名古屋市中川区） ・ 愛知医科大学病院（長久手市）
- ・ 独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院（名古屋市長久手市）
- ・ 藤田医科大学病院（豊明市）

#### (2) 県重症外傷センター指定の有効期間

3年（期間ごとに更新）（※年度途中で指定した場合は、指定した当該年度及びその後2年間を有効期間とする。）

#### (3) 県重症外傷センター指定年月日

2025年8月1日（金）

#### (4) 県重症外傷センター受入区域

県内全域

#### (5) 県重症外傷センター搬送ルール（例）

ア 消防機関は、「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」の「重症度・緊急度が高い外傷」のうち、**ショック症状を伴うロード&ゴー症例**（以下「対象傷病者」という。）について、「医療機関リスト4」の「外傷対応医療機関」の中から**搬送時間が短い対応可能な医療機関を優先し受入れを要請するが、当該医療機関が受入れ不能であった場合、県重症外傷センターに受入れを要請することができる。**

### 3 県重症外傷センターの実績報告等について

- 県重症外傷センターの受入状況等を把握するため、実績報告の提出を依頼している。（12月までの1年間分を翌年1月に県保健医療局医務課へ提出）

## 愛知県災害拠点病院の指定について

### 第2回5事業等推進部会の審議状況について

第2回	
日時	2026年3月16日（月） 午後3時30分から午後4時30分まで
開催方式	対面、オンライン併用
出席者	委員10名（委員総数15名）
議題	○愛知県災害拠点病院の指定について ・一宮西病院 ・愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院  【審議結果】 承認
報告事項	①地域保健医療計画の中間見直し（5事業等推進部会審議分）について 2026年度は現行計画の3年目にあたり、中間見直しを行うことになるため、5事業等推進部会の審議項目に係る部分について、審議いただく予定であることを報告した。  ②5事業等における主な2026年度予算について 5事業（救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療（小児救急医療を含む））及び在宅医療の確保並びに保健医療従事者（医師を除く）の確保に関する本県の2026年度予算措置状況を報告した。

### 1 経緯

- 本県では、「災害拠点病院指定方針」（2006年9月11日医療審議会医療対策部会承認）に基づき、災害拠点病院として県内38病院を指定している。
- この度、一宮西病院（一宮市）及び愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院（田原市）から災害拠点病院の指定申請があった。

### 2 病院概要

#### (1) 一宮西病院

病院名 （広域2次救急医療圏）	開設者及び 開設年月日	病床数	救命救急センターと第2次救急医療機関の別
一宮西病院 （尾張西北部）	開設者 社会医療法人杏嶺会 開設年月日 2009年11月23日	801床 療養 180床 一般 621床	第2次救急医療機関

#### (2) 愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院

病院名 （広域2次救急医療圏）	開設者及び 開設年月日	病床数	救命救急センターと第2次救急医療機関の別
愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院 （東三河平坦）	開設者 愛知県厚生農業協同組合連合会 開設年月日 2000年10月1日	302床 療養 44床 一般 258床	第2次救急医療機関

### 3 指定に向けたこれまでの手続き

項目	実施日時	結果
指定基準の充足 （現地確認）	2025年12月18日 2026年1月29日	適当
各圏域保健医療福祉推進会議 における意見聴取	2026年2月5日 2026年2月5日	承認
県災害医療協議会 における協議	2026年2月13日	反対意見なし
県医療審議会5事業等推進部会 における意見聴取	2026年3月16日	承認

上段：一宮西病院

下段：愛知県厚生農業協同組合連合会  
渥美病院